

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as First Class Mail in an envelope addressed to:
Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450, on:

John J. Torrente



2611
#5
11-18-03

PATENT
B208-1109

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Yasuyuki Ogawa
Serial No : 09/685,175
Filed : October 10, 2000
For : IMAGE PICKUP APPARATUS, CONTROL METHOD
ADAPTED FOR THE IMAGE PICKUP APPARATUS, AND
COMPUTER PROGRAM PRODUCT SUPPLYING CONTROL
PROGRAM ADAPTED FOR THE IMAGE PICKUP APPARATUS
Examiner : Unassigned
Art Unit : 2611

RECEIVED

NOV 14 2003

Technology Center 2600

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

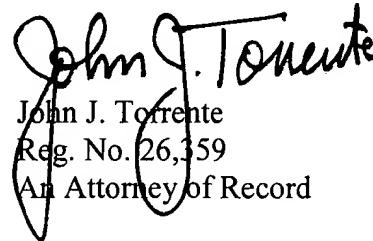
Sir:

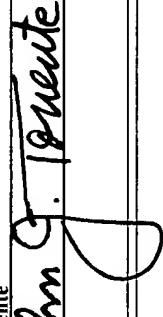
CLAIM TO BENEFIT OF 35 U.S.C. § 119
AND FILING OF PRIORITY DOCUMENT

Claim is made herein to the benefit of 35 U.S.C. § 119 of the filing date of the following Japanese Patent Application: Hei 11-293564 (filed October 15, 1999), a certified copy of which is filed herewith.

Dated: November 10, 2003

Respectfully submitted,


John J. Torrente
Reg. No. 26,359
An Attorney of Record


Robin, Blecker & Daley
330 Madison Avenue
New York, NY 10017
(212) 682-9640

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

C/TX504
6/1
15823

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1999年10月15日

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第293564号

出願人
Applicant(s):

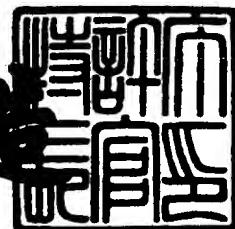
キヤノン株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年11月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕三



【書類名】 特許願
【整理番号】 4072013
【提出日】 平成11年10月15日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04N 5/225
H04N 5/232
G06F 1/00
【発明の名称】 画像処理装置及びその制御方法並びに記憶媒体
【請求項の数】 24
【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内
【氏名】 小川 康行
【特許出願人】
【識別番号】 000001007
【氏名又は名称】 キヤノン株式会社
【代表者】 御手洗 富士夫
【代理人】
【識別番号】 100081880
【弁理士】
【氏名又は名称】 渡部 敏彦
【電話番号】 03(3580)8464
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 007065
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

特平11-293564

【包括委任状番号】 9703713

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置及びその制御方法並びに記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 撮像モードで被写体を撮像する撮像手段と、該撮像手段により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶手段とを備えた画像処理装置において、

前記撮像手段により撮像して得られた撮像画像のユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力手段と、

前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力手段と、

前記開始指示入力手段により前記表示開始指示が入力されてから前記終了指示入力手段により前記表示終了指示が入力されるまでの間、前記撮像モードを維持したまま前記撮像画像を継続して表示する継続表示手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 前記継続表示手段による前記撮像画像の表示継続中に、前記ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】 撮像モードで被写体を撮像する撮像手段と、該撮像手段により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶手段と、該記憶手段により記憶された撮像画像を再生モードで再生する再生手段とを備えた画像処理装置において、

前記撮像手段により撮像して得られた撮像画像を、その撮像後に前記撮像モードを維持したまま継続して表示する継続表示手段と、

該継続表示手段による前記撮像画像の表示継続中に、ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項4】 前記継続表示手段による前記撮像画像の前記ユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力手段と、前記継続表示手段による前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力手段とを備えたことを特徴とする請求項3記載の画像処理装置。

【請求項5】 前記継続表示手段は、前記継続して表示する画像を、前記撮像画像から前記処理手段により施された所定の処理を反映した画像へと切り替えることを特徴とする請求項2、3または4のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項6】 前記記憶手段は、前記撮像画像に前記処理手段により施された所定の処理が、前記再生モード時に前記再生手段により再生される再生画像に反映されるような態様で前記撮像画像を記憶することを特徴とする請求項3～5のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項7】 前記所定の処理には、拡大表示処理、縮小表示処理、回転表示処理及び撮像条件表示処理の少なくとも1つが含まれることを特徴とする2～6のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項8】 前記所定の処理には、前記記憶手段により記憶された画像をプリントアウトする際に反映されるプリントアウトに関する設定処理が含まれることを特徴とする請求項2～7のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項9】 前記撮像手段により撮像して得られた撮像画像は、前記記憶手段により記憶されると共に前記継続表示手段により継続して表示され、前記所定の処理には、前記記憶手段により記憶された撮像画像の消去処理が含まれることを特徴とする請求項2～8のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項10】 前記所定の処理には、前記消去処理の禁止処理が含まれることを特徴とする請求項9記載の画像処理装置。

【請求項11】 前記処理手段による前記所定の処理の実行を許可する処理許可手段を備え、該処理許可手段により許可がされている場合に前記処理手段による前記所定の処理が実行可能になることを特徴とする請求項2～10のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項12】 撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程とを含む画像処理装置の制御方法において、

前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像のユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力工程と、

前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力工程と

前記開始指示入力工程により前記表示開始指示が入力されてから前記終了指示入力工程により前記表示終了指示が入力されるまでの間、前記撮像モードを維持したまま前記撮像画像を継続して表示する継続表示工程とを含むことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項13】 前記継続表示工程による前記撮像画像の表示継続中に、前記ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理工程を含むことを特徴とする請求項12記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項14】 撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程と、該記憶工程により記憶された撮像画像を再生モードで再生する再生工程とを含む画像処理装置の制御方法において、

前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像を、その撮像後に前記撮像モードを維持したまま継続して表示する継続表示工程と、

該継続表示工程による前記撮像画像の表示継続中に、ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理工程とを含むことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項15】 前記継続表示工程による前記撮像画像の前記ユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力工程と、前記継続表示工程による前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力工程とを含むことを特徴とする請求項14記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項16】 前記継続表示工程は、前記継続して表示する画像を、前記撮像画像から前記処理工程により施された所定の処理を反映した画像へと切り替えることを特徴とする請求項13、14または15のいずれか1項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項17】 前記記憶工程は、前記撮像画像に前記処理工程により施された所定の処理が、前記再生モード時に前記再生工程により再生される再生画像に反映されるような態様で前記撮像画像を記憶することを特徴とする請求項14

～16のいずれか1項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項18】 前記所定の処理には、拡大表示処理、縮小表示処理、回転表示処理及び撮像条件表示処理の少なくとも1つが含まれることを特徴とする13～17のいずれか1項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項19】 前記所定の処理には、前記記憶工程により記憶された画像をプリントアウトする際に反映されるプリントアウトに関する設定処理が含まれることを特徴とする請求項13～18のいずれか1項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項20】 前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像は、前記記憶工程により記憶されると共に前記継続表示工程により継続して表示され、前記所定の処理には、前記記憶工程により記憶された撮像画像の消去処理が含まれることを特徴とする請求項13～19のいずれか1項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項21】 前記所定の処理には、前記消去処理の禁止処理が含まれることを特徴とする請求項20記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項22】 前記処理工程による前記所定の処理の実行を許可する処理許可工程を含み、該処理許可工程により許可がされている場合に前記処理工程による前記所定の処理が実行可能になることを特徴とする請求項13～21のいずれか1項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項23】 撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程とを含む画像処理装置の制御方法で使用されるプログラムを記憶した記憶媒体であって、

前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像のユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力工程のコードと、

前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力工程のコードと、

前記開始指示入力工程のコードにより前記表示開始指示が入力されてから前記終了指示入力工程のコードにより前記表示終了指示が入力されるまでの間、前記撮像モードを維持したまま前記撮像画像を継続して表示する継続表示工程のコー

ドとを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【請求項24】 撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程と、該記憶工程により記憶された撮像画像を再生モードで再生する再生工程とを含む画像処理装置の制御方法で使用されるプログラムを記憶した記憶媒体であって、

前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像を、その撮像後に前記撮像モードを維持したまま継続して表示する継続表示工程のコードと、

該継続表示工程のコードによる前記撮像画像の表示継続中に、ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理工程のコードとを記憶したこととを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】

本発明は、静止画像や動画像を撮像、記憶する画像処理装置及びその制御方法並びに記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、被写体を撮像して静止画像や動画像の撮像画像を得て、これを記憶、再生する電子カメラ等の画像処理装置が知られている。この装置は、例えば、カラー液晶パネル等からなる電子ファインダー等の表示部を備えると共に、固体メモリ素子を有するメモリカード等の記憶媒体を着脱可能に構成され、撮像した撮像画像を上記記憶媒体に記憶すると共に、記憶した撮像画像を撮像直後に上記表示部で再生表示して、その再生画像を迅速に確認することができるよう構成されている。また、上記再生画像を見ながら、撮像したばかりの撮像画像を消去したり、拡大、縮小表示やプリント指定用ファイルの生成等、各種処理を施したりする場合も多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の画像処理装置では、撮像画像を撮像後直ちに再生表

示する場合、撮像後自動的に一定時間再生表示されるか、あるいはレリーズスイッチを押し続けている間再生表示されるように構成されていたため、表示状態が所望な時間保持されず、内容の確認を十分に行えない場合があった。そのため、詳細な確認を行うためには、撮像モードから再生モードへと一旦切り替え、再生モードにて画像確認を行う必要があった。

【0004】

また、撮像画像に各種処理を施す場合にも、確認や操作のための十分な時間が必要であるため、同様に再生モードに切り替えてから行う必要があった。

【0005】

本発明は上記従来技術の問題を解決するためになされたものであり、その第1の目的は、撮像画像を撮像モードのまま任意に表示して十分に確認することができる画像処理装置及びその制御方法並びに記憶媒体を提供することにある。本発明の第2の目的は、撮像画像を撮像モードのまま表示しつつ該撮像画像に対して所定の処理を施すことができる画像処理装置及びその制御方法並びに記憶媒体を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記第1の目的を達成するために本発明の請求項1の画像処理装置は、撮像モードで被写体を撮像する撮像手段と、該撮像手段により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶手段とを備えた画像処理装置において、前記撮像手段により撮像して得られた撮像画像のユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力手段と、前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力手段と、前記開始指示入力手段により前記表示開始指示が入力されてから前記終了指示入力手段により前記表示終了指示が入力されるまでの間、前記撮像モードを維持したまま前記撮像画像を継続して表示する継続表示手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】

同じ目的を達成するために本発明の請求項2の画像処理装置は、上記請求項1記載の構成において、前記継続表示手段による前記撮像画像の表示継続中に、前

記ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理手段を備えたことを特徴とする。

【0008】

上記第2の目的を達成するために本発明の請求項3の画像処理装置は、撮像モードで被写体を撮像する撮像手段と、該撮像手段により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶手段と、該記憶手段により記憶された撮像画像を再生モードで再生する再生手段とを備えた画像処理装置において、前記撮像手段により撮像して得られた撮像画像を、その撮像後に前記撮像モードを維持したまま継続して表示する継続表示手段と、該継続表示手段による前記撮像画像の表示継続中に、ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理手段とを備えたことを特徴とする。

【0009】

同じ目的を達成するために本発明の請求項4の画像処理装置は、上記請求項3記載の構成において、前記継続表示手段による前記撮像画像の前記ユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力手段と、前記継続表示手段による前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力手段とを備えたことを特徴とする。

【0010】

同じ目的を達成するために本発明の請求項5の画像処理装置は、上記請求項2、3または4のいずれか1項に記載の構成において、前記継続表示手段は、前記継続して表示する画像を、前記撮像画像から前記処理手段により施された所定の処理を反映した画像へと切り替えることを特徴とする。

【0011】

同じ目的を達成するために本発明の請求項6の画像処理装置は、上記請求項3～5のいずれか1項に記載の構成において、前記記憶手段は、前記撮像画像に前記処理手段により施された所定の処理が、前記再生モード時に前記再生手段により再生される再生画像に反映されるような態様で前記撮像画像を記憶することを特徴とする。

【0012】

同じ目的を達成するために本発明の請求項7の画像処理装置は、上記2～6のいずれか1項に記載の構成において、前記所定の処理には、拡大表示処理、縮小表示処理、回転表示処理及び撮像条件表示処理の少なくとも1つが含まれることを特徴とする。

【0013】

同じ目的を達成するために本発明の請求項8の画像処理装置は、上記請求項2～7のいずれか1項に記載の構成において、前記所定の処理には、前記記憶手段により記憶された画像をプリントアウトする際に反映されるプリントアウトに関する設定処理が含まれることを特徴とする。

【0014】

同じ目的を達成するために本発明の請求項9の画像処理装置は、上記請求項2～8のいずれか1項に記載の構成において、前記撮像手段により撮像して得られた撮像画像は、前記記憶手段により記憶されると共に前記継続表示手段により継続して表示され、前記所定の処理には、前記記憶手段により記憶された撮像画像の消去処理が含まれることを特徴とする。

【0015】

同じ目的を達成するために本発明の請求項10の画像処理装置は、上記請求項9記載の構成において、前記所定の処理には、前記消去処理の禁止処理が含まれることを特徴とする。

【0016】

同じ目的を達成するために本発明の請求項11の画像処理装置は、上記請求項2～10のいずれか1項に記載の構成において、前記処理手段による前記所定の処理の実行を許可する処理許可手段を備え、該処理許可手段により許可がされている場合に前記処理手段による前記所定の処理が実行可能になることを特徴とする。

【0017】

上記第1の目的を達成するために本発明の請求項12の画像処理装置の制御方法は、撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程とを含む画像処理装置の制御方法において、

前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像のユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力工程と、前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力工程と、前記開始指示入力工程により前記表示開始指示が入力されてから前記終了指示入力工程により前記表示終了指示が入力されるまでの間、前記撮像モードを維持したまま前記撮像画像を継続して表示する継続表示工程とを含むことを特徴とする。

【0018】

同じ目的を達成するために本発明の請求項13の画像処理装置の制御方法は、上記請求項12記載の構成において、前記継続表示工程による前記撮像画像の表示継続中に、前記ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理工程を含むことを特徴とする。

【0019】

上記第2の目的を達成するために本発明の請求項14の画像処理装置の制御法は、撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程と、該記憶工程により記憶された撮像画像を再生モードで再生する再生工程とを含む画像処理装置の制御方法において、前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像を、その撮像後に前記撮像モードを維持したまま継続して表示する継続表示工程と、該継続表示工程による前記撮像画像の表示継続中に、ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理工程とを含むことを特徴とする。

【0020】

同じ目的を達成するために本発明の請求項15の画像処理装置の制御方法は、上記請求項14記載の構成において、前記継続表示工程による前記撮像画像の前記ユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力工程と、前記継続表示工程による前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力工程とを含むことを特徴とする。

【0021】

同じ目的を達成するために本発明の請求項16の画像処理装置の制御方法は、上記請求項13、14または15のいずれか1項に記載の構成において、前記継

続表示工程は、前記継続して表示する画像を、前記撮像画像から前記処理工程により施された所定の処理を反映した画像へと切り替えることを特徴とする。

【0022】

同じ目的を達成するために本発明の請求項17の画像処理装置の制御方法は、上記請求項14～16のいずれか1項に記載の構成において、前記記憶工程は、前記撮像画像に前記処理工程により施された所定の処理が、前記再生モード時に前記再生工程により再生される再生画像に反映されるような態様で前記撮像画像を記憶することを特徴とする。

【0023】

同じ目的を達成するために本発明の請求項18の画像処理装置の制御方法は、上記13～17のいずれか1項に記載の構成において、前記所定の処理には、拡大表示処理、縮小表示処理、回転表示処理及び撮像条件表示処理の少なくとも1つが含まれることを特徴とする。

【0024】

同じ目的を達成するために本発明の請求項19の画像処理装置の制御方法は、上記請求項13～18のいずれか1項に記載の構成において、前記所定の処理には、前記記憶工程により記憶された画像をプリントアウトする際に反映されるプリントアウトに関する設定処理が含まれることを特徴とする。

【0025】

同じ目的を達成するために本発明の請求項20の画像処理装置の制御方法は、上記請求項13～19のいずれか1項に記載の構成において、前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像は、前記記憶工程により記憶されると共に前記継続表示工程により継続して表示され、前記所定の処理には、前記記憶工程により記憶された撮像画像の消去処理が含まれることを特徴とする。

【0026】

同じ目的を達成するために本発明の請求項21の画像処理装置の制御方法は、上記請求項20記載の構成において、前記所定の処理には、前記消去処理の禁止処理が含まれることを特徴とする。

【0027】

同じ目的を達成するために本発明の請求項22の画像処理装置の制御方法は、上記請求項13～21のいずれか1項に記載の構成において、前記処理工程による前記所定の処理の実行を許可する処理許可工程を含み、該処理許可工程により許可がされている場合に前記処理工程による前記所定の処理が実行可能になることを特徴とする。

【0028】

上記第1の目的を達成するために本発明の請求項23の記憶媒体は、撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程とを含む画像処理装置の制御方法で使用されるプログラムを記憶した記憶媒体であって、前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像のユーザによる表示開始指示を入力する開始指示入力工程のコードと、前記撮像画像の前記ユーザによる表示終了指示を入力する終了指示入力工程のコードと、前記開始指示入力工程のコードにより前記表示開始指示が入力されてから前記終了指示入力工程のコードにより前記表示終了指示が入力されるまでの間、前記撮像モードを維持したまま前記撮像画像を継続して表示する継続表示工程のコードとを記憶したことを特徴とする。

【0029】

上記第2の目的を達成するために本発明の請求項24の記憶媒体は、撮像モードで被写体を撮像する撮像工程と、該撮像工程により撮像して得られた撮像画像を記憶する記憶工程と、該記憶工程により記憶された撮像画像を再生モードで再生する再生工程とを含む画像処理装置の制御方法で使用されるプログラムを記憶した記憶媒体であって、前記撮像工程により撮像して得られた撮像画像を、その撮像後に前記撮像モードを維持したまま継続して表示する継続表示工程のコードと、該継続表示工程のコードによる前記撮像画像の表示継続中に、ユーザの操作に基づいて前記撮像画像に関して所定の処理を施す処理工程のコードとを記憶したことを特徴とする。

【0030】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0031】

図1は、本発明の一実施の形態に係る画像処理装置の構成を示すブロック図である。本装置は、例えば電子カメラとして構成される。

【0032】

同図において、100は画像処理装置、10は撮影レンズ、12は絞り機能を備えるシャッタ、14は撮像素子（撮像手段）で、光学像を電気信号に変換する。16はA/D変換器で、撮像素子14のアナログ信号出力をデジタル信号に変換する。18はタイミング発生回路で、撮像素子14及びA/D変換器16にクロック信号や制御信号を供給するもので、メモリ制御回路22及びシステム制御回路50（継続表示手段、処理手段、再生手段）により制御される。

【0033】

20は画像処理回路で、A/D変換器16からのデータ或いはメモリ制御回路22からのデータに対して所定の画素補間処理や色変換処理を行う。また、画像処理回路20においては、撮像した画像データを用いて所定の演算処理を行い、得られた演算結果に基づいてシステム制御回路50が露光制御手段40及び測距制御手段42に対して制御を行うTTL（スルー・ザ・レンズ）方式のAF（オートフォーカス）処理、AE（自動露出）処理及びEF（フラッシュプリ発光）処理を行っている。更に、画像処理回路20においては、撮像した画像データを用いて所定の演算処理を行い、得られた演算結果に基づいてTTL方式のAWB（オートホワイトバランス）処理も行っている。

【0034】

22はメモリ制御回路で、A/D変換器16、タイミング発生回路18、画像処理回路20、画像表示メモリ24、D/A変換器26、メモリ30（記憶手段）及び圧縮・伸長回路32を制御する。

【0035】

A/D変換器16のデータが画像処理回路20及びメモリ制御回路22を介して或いはA/D変換器16のデータが直接メモリ制御回路22を介して、画像表示メモリ24或いはメモリ30に書き込まれる。

【0036】

24は画像表示メモリ、26はD/A変換器、28はTFT-LCD (thin film transistor-liquid crystal display: 薄膜トランジスタ液晶ディスプレイ) 等からなる画像表示部（継続表示手段、再生手段）で、画像表示メモリ24に書き込まれた表示用の画像データは、D/A変換器26を介して画像表示部28により表示される。画像表示部28を用いて、撮像した画像データを逐次表示すれば、電子ファインダー機能を実現することが可能である。また、画像表示部28は、システム制御回路50の指示により任意に表示をオン／オフすることが可能であり、表示をオフにした場合には画像処理装置100の電力消費を大幅に低減することができる。また、画像表示部28は、回転可能な不図示のヒンジ部によって画像処理装置100の本体と結合されており、自由な向き及び角度を設定して、電子ファインダー機能や再生表示機能及び各種表示機能を使用することが可能である。更に、画像表示部28の表示部分（表示面）を画像処理装置100の本体に向けて格納することができる。この場合は、画像表示部開閉検知手段106により格納状態（開閉状態）を検知して、画像表示部28の表示動作を停止することができる。

【0037】

30は撮影した静止画像や動画像及び音声データを格納するためのメモリで、所定枚数の静止画像や所定時間の動画像を格納するのに十分な記憶容量を備えている。これにより、複数枚の静止画像を連続して撮影する連射撮影やパノラマ撮影の場合にも、高速且つ大量の画像書き込みをメモリ30に対して行うことが可能となる。また、メモリ30はシステム制御回路50の作業領域としても使用することが可能である。

【0038】

32は、適応離散コサイン変換（ADCT）等により画像データを圧縮・伸長する圧縮・伸長回路で、メモリ30に格納された画像を読み込んで圧縮処理或いは伸長処理を行い、その処理の終了したデータをメモリ30に書き込む。

【0039】

40は露光制御手段で、シャッタ12を制御するもので、フラッシュ404と連携することによりフラッシュ調光機能を有する。42は測距制御手段で、撮影

レンズ10のフォーカシングを制御する。露光制御手段40及び測距制御手段42は TTL方式を用いて制御されており、撮像した画像データを画像処理回路20によって演算した演算結果に基づき、システム制御回路50が露光制御手段40及び測距制御手段42に対して制御を行う。

【0040】

44はズーム制御手段で、撮影レンズ10のズーミングを制御する。46はバリア制御手段で、バリアである保護手段102の動作を制御する。48はコネクタで、アクセサリーシューとも呼ばれ、フラッシュ装置400との電気接点や機械的な固定手段も合わせて備えている。

【0041】

50はシステム制御回路で、画像処理装置100全体を制御する。52はメモリで、システム制御回路50の動作用の定数、変数、プログラム等を記憶する。

【0042】

54は液晶表示装置、スピーカー等の表示部であり、システム制御回路50でのプログラムの実行に応じて、文字、画像、音声等を用いて動作状態やメッセージ等を表示する。この表示部54は、画像処理装置100の操作部近辺の視認し易い位置に単数或いは複数箇所設置され、例えば、LCD（液晶表示装置）やLED（発光ダイオード）、発音素子等の組み合わせにより構成されている。また、表示部54は、その一部の機能が光学ファインダー104内に設置されている。表示部54の表示内容のうち、LCD等に表示するものとしては、シングルショット／連写撮影表示、セルフタイマー表示、圧縮率表示、記録画素数表示、記録枚数表示、残撮影可能枚数表示、シャッタースピード表示、絞り値表示、露出補正表示、フラッシュ表示、赤目緩和表示、マクロ撮影表示、ブザー設定表示、時計用電池残量表示、カメラ用電池残量表示、エラー表示、複数桁の数字による情報表示、記録媒体200（記憶手段）及び記録媒体210（記憶手段）の着脱状態表示、通信I/F（インターフェース）動作表示、日付・時刻表示、録音動作表示等がある。

【0043】

また、表示部54の表示内容のうち、光学ファインダー104内に表示される

ものとしては、合焦表示、手振れ警告表示、フラッシュ充電表示、シャッタースピード表示、絞り値表示、露出補正表示等がある。

【0044】

56は電気的に消去・記録可能な不揮発性メモリで、例えばEEPROM (electrically erasable and programmable read only memory) 等が用いられる。60, 62, 64, 66, 68及び70は操作手段で、システム制御回路50の各種の動作指示信号を入力するものであり、スイッチやダイアル、タッチパネル、視線検知によるポインティング、音声認識装置等の単数或いは複数の組み合わせで構成される。

【0045】

ここで、これらの操作手段60, 62, 64, 66, 68及び70の具体的な説明を行う。

【0046】

60はモードダイアルスイッチで、電源オフのほか、自動撮影モード、マニュアル撮影モード、パノラマ撮影モード等の撮像モード、再生モード、マルチ画面再生・消去モード、PC接続モード等の各機能モードを切り換え設定することができる。

【0047】

62はシャッタースイッチ(SW1)（終了指示入力手段）で、不図示のシャッターボタンの操作途中でオンとなり、AF（オートフォーカス）処理、AE（自動露出）処理、AWB（オートホワイトバランス）処理、EF（フラッシュブリブリ発光）処理等の動作開始を指示する。

【0048】

64はシャッタースイッチ(SW2)（開始指示入力手段）で、上記不図示のシャッターボタンの操作完了でオンとなり、撮像素子12から読み出した信号をA/D変換器16、メモリ制御回路22を介してメモリ30に画像データを書き込む露光処理、画像処理回路20やメモリ制御回路22での演算を用いた現像処理、メモリ30から画像データを読み出し、圧縮・伸長回路32で圧縮を行い、記録媒体200或いは記録媒体210に画像データを書き込む記録処理という一

連の処理の動作開始を指示する。

【0049】

66は画像表示ON（オン）／OFF（オフ）スイッチで、画像表示部28のオン／オフを設定することができる。この機能により、光学ファインダー104を用いて撮影を行う際に、TFT-LCD等からなる画像表示部への電流供給を遮断することにより、省電力を図ることが可能となる。

【0050】

68は単写／連写スイッチで、シャッタースイッチ（SW2）64を押した場合に1コマの撮影を行って待機状態とする単写モードと、シャッタースイッチ（SW2）64を押している間は連続して撮影を行い続ける連写モードとを設定することができる。

【0051】

70は各種ボタンやタッチパネル等からなる操作部（処理許可手段）で、メニューボタン、セットボタン、マクロボタン、マルチ画面再生改ページボタン、フラッシュ設定ボタン、単写／連写セルフタイマー切り換えボタン、メニュー移動+（プラス）ボタン、メニュー移動-（マイナス）ボタン、再生画像移動+（プラス）ボタン、再生画像移動-（マイナス）ボタン、メニュー移動アップボタン、メニュー移動ダウンボタン、撮影画質選択ボタン、露出補正ボタン、日付／時間設定ボタン、パノラマモード等の撮影及び再生を実行する際に各種機能の選択及び切り換えを設定する選択／切り換えボタン、パノラマモード等の撮影及び再生を実行する際に各種機能の決定及び実行を設定する決定／実行ボタン、撮影直後に撮影した画像データを自動再生するクイックレビュー機能を設定するクイックレビューON／OFFスイッチ、JPEG圧縮の圧縮率を選択するため或いは撮像素子14の信号をそのままデジタル化して記録媒体200或いは記録媒体210に記録するCCDRAWモードを選択するためのスイッチである圧縮モードスイッチ、再生モード、マルチ再生・消去モード及びPC接続モード等の各機能モードを設定することができる再生モードスイッチ、撮影モード状態において、撮影した画像をメモリ30或いは記録媒体200或いは記録媒体210から読み出して画像表示部28によって表示する再生動作の開始を指示する再生スイッチ

、アクティブなドライブを変更するためのドライブボタン、再生時に1枚表示と複数枚表示とを切り替える再生表示切り替えボタン、記録画像の付帯情報を表示するための情報表示ボタン等がある。

【0052】

80は電源制御手段で、電池検出回路、DC-DCコンバータ、通電するブロックを切り換えるスイッチ回路等により構成されており、電池の装着の有無、電池の種類、電池残量の検出を行い、その検出結果及びシステム制御回路50の指示に基づいてDC-DCコンバータを制御し、必要な電圧を必要な期間、記録媒体200, 210を含む各部へ供給する。

【0053】

82, 84はコネクタ、86は電源手段であり、アルカリ電池或いはリチウム電池等の一時電池や、NiCd電池或いはNiMH電池或いはLi電池等の二次電池や、ACアダプター等からなる。

【0054】

90, 94はメモリカードやハードディスク等の記録媒体200, 210とのインターフェース(I/F)、92, 96はメモリカードやハードディスク等の記録媒体200, 210と接続を行うコネクタである。

【0055】

98は記録媒体着脱検知手段で、コネクタ92及び或いはコネクタ96に記録媒体200或いは記憶媒体210が装着されているか否かを検知する。

【0056】

なお、本実施の形態では、記録媒体を取り付けるインターフェース及びコネクタを2系統持つものとして説明している。もちろん、記録媒体を取り付けるインターフェース及びコネクタは、単数或いは複数のいずれの系統数を備える構成としても良い。また、異なる規格のインターフェース及びコネクタを組み合わせて備える構成としても良い。

【0057】

インターフェース及びコネクタとしては、PCMCIAカードやCF(コンパクトフラッシュ)カード等の規格に準拠したものを用いて構成しても良い。また

、インターフェース90, 94、ネクタ92, 96を、PCMCIAカードやCF（コンパクトフラッシュ）カード等の規格に準拠したものを用いて構成した場合、LANカードやモデムカード、USBカード、IEEE1394カード、P1284カード、SCSIカード、PHS等の通信カード等の各種通信カードを接続することにより、他のコンピュータやプリンタ等の周辺機器との間で画像データや画像データに付属した管理情報を転送し合うことができる。

【0058】

102はバリアである保護手段で、画像処理装置100の撮影レンズ10を含む撮像部を覆うことにより、該撮像部の汚れや破損を防止する。104は光学ファインダーで、画像表示部28による電子ファインダー機能を使用すること無しに、この光学ファインダー104のみを用いて撮影を行うことが可能である。また、光学ファインダー104内には、表示部54の一部の機能、例えば合焦表示機能、手振れ警告表示機能、フラッシュ充電表示機能、シャッタースピード表示機能、絞り値表示機能、露出補正表示機能等が設置されている。

【0059】

106は画像表示部開閉検知手段で、画像表示部28がその表示部（表示面）を画像処理装置100の本体に向けて格納した格納状態にあるか否かを検知することができる。ここで画像表示部開閉検知手段106が格納状態にあると検知した場合は、画像表示部28の表示動作を停止して、不要な電力消費を禁止することが可能である。

【0060】

110は通信手段で、RS232CやUSB、IEEE1394、P1284、SCSI、モデム、LAN、無線通信等の各種通信機能を有する。112はコネクタ或いはアンテナで、通信手段110により画像処理装置100を他の機器と接続する場合はコネクタとなり、また、無線通信の場合はアンテナとなる。

【0061】

200はメモリカードやハードディスク等の記録媒体である。この記録媒体200は、半導体メモリや磁気ディスク等から構成される記録部202、画像処理装置100とのインターフェース（I/F）204、画像処理装置100と接続を

行うコネクタ206を備えている。

【0062】

210はメモリカードやハードデスク等の記録媒体である。この記録媒体210は、半導体メモリや磁気ディスク等から構成される記録部212、画像処理装置100とのインターフェース(I/F)214、画像処理装置100と接続を行うコネクタ216を備えている。

【0063】

400はフラッシュ装置、402はコネクタで、画像処理装置100のアクセサリーシュート接続するものである。404はフラッシュで、AF補助光の投光機能及びフラッシュ調光機能を有する。

【0064】

かかる構成において、モードダイアルスイッチ60によって撮像モードになっている場合、シャッタースイッチ(SW1)62及びシャッタースイッチ(SW2)64を用いて撮像が可能である。システム制御回路50は、通常は撮影準備状態にあり、シャッタースイッチ(SW1)62の押下が検知されると、露光制御手段40により露光制御がなされると共に、測距制御手段42により測距制御がなされ、これらの制御が終了した時点で露光開始状態に遷移する。そしてこの状態でシャッタースイッチ(SW2)64の押下が検知されると、露光が開始される。撮影して得た撮像画像は、撮像素子14、A/D変換器16、画像処理回路20及びメモリ制御回路22を通してメモリ30に格納される。メモリ30に格納された記録画像は、必要に応じて圧縮・伸長回路32によりデータ圧縮が施されてメモリ30に再び格納される。この状態でシステム制御回路50は撮影終了状態となる。

【0065】

図2は、本実施の形態に係る画像処理装置における確認表示処理のフローチャートを示す図である。本処理は、撮像モードにおいてシステム制御回路50が上記撮像終了状態になっている場合に開始される。

【0066】

まず、確認表示開始トリガが発生しているか否かを判別する(ステップS20)

1)。ここに確認表示開始トリガは、確認表示、すなわち撮影直後に撮像画像を撮像モードのまま（再生モードにすることなく）表示するために発生するものであり、例えば撮影終了状態になった時点を記憶しておき、この時点から所定時間（例えば数秒間）後にシャッタースイッチ（SW2）64が押下されている場合に発生する。従って、ユーザは、撮像後、シャッタースイッチ（SW2）64を所定時間押下したままにすれば、確認表示開始トリガを発生させることができる。なお、本実施の形態では撮像画像の確認表示は画像表示部28においてなされる。

【0067】

前記ステップS201の判別の結果、確認表示開始トリガが発生していない場合は、直ちにステップS218に進み、撮影準備状態へと復帰する。この撮影準備状態では、システム制御回路50は、メモリ30に記録画像が残っており、なおかつ記録媒体着脱検知手段98からの信号により、コネクタ92またはコネクタ96に記録媒体200または記憶媒体210が装着されると判別された場合は、メモリ30内の記録画像を記録媒体200または記憶媒体210に保存すると共にメモリ30内の記録画像をクリアする。

【0068】

一方、前記ステップS201の判別の結果、確認表示開始トリガが発生している場合は、確認表示開始処理を行う（ステップS202）。すなわち、メモリ30に格納されている記録画像に圧縮・伸長回路32によりデータ伸長を施し、該伸長したデータをメモリ制御回路22を通じて画像表示メモリ24に表示用データとして格納して、該格納されたデータをシステム制御回路50が画像表示部28に表示する。

【0069】

次いで、確認表示終了トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS203）。ここに、確認表示終了トリガは撮像画像の確認表示を終了させるために発生するものであり、例えばシャッタースイッチ（SW1）62が押下された場合に発生する。

【0070】

前記ステップS203の判別の結果、確認表示終了トリガが発生している場合は、確認表示終了処理を行う（ステップS204）。すなわち、画像表示部28への映像出力を停止し、撮影準備状態（ステップS218）へと復帰する。

【0071】

一方、前記ステップS203の判別の結果、確認表示終了トリガが発生していない場合は、確認表示保持トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS205）。ここに、確認表示保持トリガは、撮像画像に関して後述する各種処理を施す機会を与えるべく、撮像画像の確認表示を継続させるために発生するものであり、例えば操作部70のセットボタンが押下された場合に発生する（処理許可手段）。

【0072】

前記ステップS205の判別の結果、確認表示保持トリガが発生していない場合は、前記ステップS203に進む。従って、確認表示終了トリガが発生するまで確認表示が継続される。

【0073】

一方、前記ステップS205の判別の結果、確認表示保持トリガが発生している場合は、続くステップS206～S217で、撮像画像に関する処理のためのトリガ発生の判別及びトリガに応じた処理（所定の処理）の実行を行う（処理手段）。各種処理のためのトリガは、操作部70におけるユーザによる入力によって発生する。

【0074】

まず、プロテクト設定トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS206）。その判別の結果、プロテクト設定トリガが発生している場合は、プロテクト処理を行う（ステップS207）。すなわち、最初のプロテクト設定トリガの発生時には、メモリ30、記録媒体200、210内のデータに対し、誤消去防止のためのプロテクトデータを設定すると共に、その設定内容を画像表示部28に撮像画像とオーバーラップ表示する。その後、前記ステップS205に戻る。

【0075】

なお、プロテクト設定が一旦された状態において、前記ステップS206の判別の結果、プロテクト設定トリガが再度発生している場合は、次のステップS207では上記設定したプロテクト設定を解除する処理を行い、その設定内容を画像表示部28に出力して、前記ステップS205に戻る。

【0076】

一方、前記ステップS206の判別の結果、プロテクト設定トリガが発生していない場合は、拡大表示トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS208）。その判別の結果、拡大表示トリガが発生している場合は、拡大処理を行う（ステップS209）。すなわち、画像表示メモリ24内の表示データをメモリ制御回路22及び画像処理回路20を用いて拡大処理し、これを画像表示メモリ24に再度格納して、画像表示部28にて拡大再生表示を行う。なお、拡大再生表示中には、操作部70のプラスボタン、マイナスボタン、アップボタン、ダウントボタンを用いて拡大表示位置を変更可能である。また、このとき画像表示部28に拡大画像と共に現在表示中の位置を示す情報をオーバーラップ表示することで、現在表示中の画像の画像全体における位置をユーザに把握させることができる。その後、前記ステップS205に戻る。

【0077】

なお、この拡大表示中において、前記ステップS208の判別の結果、拡大表示トリガが再度発生している場合は、次のステップS209では、画像表示部28への出力を拡大表示から通常表示に切り替えて、前記ステップS205に戻る。なお、同様の処理により画像縮小処理も行えるようにしてもよい。

【0078】

前記ステップS208の判別の結果、拡大表示トリガが発生していない場合は、回転設定トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS210）。回転設定は、撮像画像を回転させて表示するための処理であり、例えば縦位置撮影された画像を画像表示部28において縦位置表示となるようにするものである。

【0079】

前記ステップS210の判別の結果、回転設定トリガが発生している場合は、回転処理を行う（ステップS211）。すなわち、メモリ30、記録媒体200

、210内に存在する記録データを圧縮・伸長回路32により伸長し、これにメモリ制御回路22及び画像処理回路20を用いて例えば90°の回転処理を施した後、これを画像表示メモリ24に再度格納し、画像表示部28に出力し、回転表示させる。これと同時に、メモリ30、記録媒体200、210内に存在する記録データに回転属性を示す設定を施す。その後、前記ステップS205に戻る。この設定された回転属性は、再生モード時に再生される画像に反映される。また、通信手段110を通じて他の画像処理装置に記録データが転送された場合でも、当該他の画像処理装置において上記回転属性を参照することで、自動的に回転画像を再生することが可能となる。

【0080】

なお、この回転表示中において、前記ステップS210の判別の結果、回転表示トリガが再度発生している場合は、次のステップS211では、回転角度をさらに例えば90°変更し、前記ステップS205に戻る。従って、回転表示トリガが発生する度毎に回転角度の変更が繰り返させる。

【0081】

一方、前記ステップS210の判別の結果、回転設定トリガが発生していない場合は、プリント指定設定トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS212）。プリント指定設定は、記録媒体200、210内にプリント指定用のファイルを生成し、そのファイルに画像ファイルとのリンク関係を記述しておくことにより、記録媒体200、210を不図示のプリンタシステムに装着したとき、画像データを設定に従って自動的にプリントする場合に利用される。

【0082】

前記ステップS212の判別の結果、プリント指定設定トリガが発生している場合は、プリント指定処理を行う（ステップS213）。すなわち、記録媒体200または記録媒体210内の所定のファイルに現在表示中の撮像画像のファイルへのリンク記述を追記と共に、プリント指定状態を示す表示を画像表示部28に撮像画像と共にオーバーラップ表示する。その後、前記ステップS205に戻る。

【0083】

なお、プリント指定状態を示す表示中において、前記ステップS212の判別の結果、プリント指定設定トリガが再度発生している場合は、次のステップS213では、プリント指定設定の解除、すなわちファイルから上記リンク記述を削除し、前記ステップS205に戻る。

【0084】

一方、前記ステップS212の判別の結果、プリント指定設定トリガが発生していない場合は、情報表示設定トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS214）。その判別の結果、情報表示設定トリガが発生している場合は、情報表示処理を行う（ステップS215）。すなわち、画像表示部28において記録画像と共に該画像の撮像条件の情報をオーバーラップ表示する。その後、前記ステップS205に戻る。撮像条件の情報は、例えば撮影時のモードダイヤルポジション情報、Tv値、Av値、Ev値等の情報であり、これらの撮像条件の情報は、メモリ30、記録媒体200または記録媒体210に撮像画像が格納される際に撮像画像と対応付けられて記憶されている。

【0085】

なお、撮像条件の情報の表示中において、前記ステップS214の判別の結果、情報表示設定トリガが再度発生している場合は、次のステップS215では、撮像条件の情報の表示を消去し、前記ステップS205に戻る。

【0086】

一方、前記ステップS214の判別の結果、情報表示設定トリガが発生していない場合は、消去トリガが発生しているか否かを判別する（ステップS216）。その判別の結果、消去トリガが発生している場合は、消去処理を行う（ステップS217）。すなわち、メモリ30、記録媒体200、または記録媒体210に保持されている記録画像を消去する。次いで、前記ステップS204に進んで確認表示終了処理を実行し、撮影準備状態（ステップS218）に移行する。

【0087】

一方、前記ステップS216の判別の結果、消去トリガが発生していない場合は、前記ステップS203に進む。

【0088】

本実施の形態によれば、撮像後、シャッタースイッチ（SW2）64の押下を所定時間継続して確認表示開始トリガを発生させれば、その後シャッタースイッチ（SW1）62を押下して確認表示終了トリガを発生させるまでの間、撮像したばかりの撮像画像が撮像モードのまま表示されるので、再生モードにする等の煩わしい操作をすることなく、撮像画像を十分に確認することができる。また、消去処理では、不要な撮像画像の消去を表示により確認しつつ確実に行うことができる。さらに、プロテクト処理では、撮像画像の誤消去を防止することができる。

【0089】

また、確認表示中に操作部70のセットボタンを押下して確認表示保持トリガを発生させれば、その後、確認表示終了トリガを発生させるまでの間、プロテクト処理等の各種処理が可能になるので、誤操作等による不要な処理を防止しつつ、撮像画像を撮像モードのまま任意に表示して、該撮像画像に対して各種処理を施すことができる。しかも、施した処理は、画像表示部28における確認表示に反映されるので隨時確認可能であるだけでなく、回転処理については、記録媒体200等の記録データにも回転属性を示す設定が施されたようにしたので、再生モード時には回転処理がなされた状態で再生することができ、使い勝手のバリエーションを増大させることができる。

【0090】

また、プリント指定処理では、画像ファイルとのリンク関係を記述するようにしたので、記録媒体200等の記録画像を上記設定に従って自動的にプリントすることができ、プリントアウト時の処理を円滑にすることができる。

【0091】

なお、拡大・縮小処理、情報表示処理についても、回転処理の場合と同様にメモリ30、記録媒体200、210内に存在する記録データにそれを示す属性を施し、再生画像に反映されるようにしてもよい。

【0092】

なお、確認表示中に撮像画像に関して行う処理は、上記プロテクト処理等に限られず、他の処理でもよい。

【0093】

なお、確認表示開始トリガは、撮影終了状態になった時点から所定時間経過後にシャッタースイッチ（SW2）64が押下されている場合に発生し、確認表示終了トリガは、シャッタースイッチ（SW1）62が押下された場合に発生し、確認表示保持トリガは、操作部70のセットボタンが押下された場合に発生するようしたが、これに限るものでなく、例えば次のような方法で事前の設定に基づき発生させるようにしてもよい。

【0094】

図3は、撮影時のメニュー設定画面表示の一例を示す図である。

【0095】

本メニューM30は、操作部70のメニューボタンが押下されることにより表示部54に表示される。メニューM30として、まず同図左列の選択アイテム31が表示される。選択アイテム31には、「撮影の確認」のほか、「記録画素数」、「圧縮率」、「デジタルズーム」がある。ユーザは、操作部70のアップスイッチ及びダウンドスイッチで所望のアイテムを選択し、セットスイッチを押下して決定する。すると、決定したアイテムに対応するプルダウンメニュー32が同図右列に表示される。

【0096】

例えば、選択アイテム31で「撮影の確認」を選択、決定すると、同図に示すような「OFF」、「2秒」、「SW1まで」等の設定項目がプルダウンメニュー32に表れる。ユーザは、上記と同様に操作部70のアップスイッチ、ダウンドスイッチ及びセットスイッチを用いて所望の項目を選択、決定する。

【0097】

プルダウンメニュー32における「OFF」では、確認表示開始トリガは発生しない。「2秒」、「4秒」、「8秒」では、確認表示開始トリガは常に発生し、確認表示終了トリガは、確認表示開始後それぞれ2秒後、4秒後、8秒後に発生する。「SW1まで」では、確認表示開始トリガは常に発生し、シャッタースイッチ（SW1）62が押下されたときに確認表示終了トリガが発生する。確認表示保持トリガは、確認表示開始トリガが発生した場合は常に発生するようによ

る。従って、確認表示中はプロジェクト処理等の各種処理が可能である。なお、確認表示保持トリガの発生タイミングを規定するための項目も、プルダウンメニュー「32」において設け、これによって個別に選択、決定するようにしてよい。

【0098】

具体的には、図2の確認表示処理では次のように動作する。「撮影の確認」について、例えば「OFF」が選択された場合は、常に、確認表示を行うことなく、図2のステップS201から撮影準備状態（ステップS218）に直ちに移行する。「2秒」が選択された場合は、確認表示開始処理（ステップS202）後、タイマが設定され、2秒後に確認表示終了トリガが発生する。そして、確認表示終了トリガ発生後におけるステップS203で確認表示が終了する。「SW1まで」が選択された場合は、確認表示が継続され、シャッタースイッチ（SW1）62が押下されて確認表示終了トリガが発生した後におけるステップS203で確認表示が終了する。

【0099】

このように、確認表示開始トリガ等の発生を予め静的に設定しておくことで、ユーザの使用態様に合った確認表示を行え、使い勝手を向上することができる。なお、これ以外の方法で各トリガを発生させるようにしてよい。

【0100】

なお、上述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を画像処理装置に供給し、その画像処理装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることはいうまでもない。

【0101】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【0102】

プログラムコードを供給するための記憶媒体として、例えば、フロッピィディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R

、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROMなどを用いることができる。

【0103】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより上述した各実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づいて、コンピュータ上で稼動しているOS等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることはいうまでもない。

【0104】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づいて、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることはいうまでもない。

【0105】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の請求項1に係る画像処理装置、請求項12に係る画像処理装置の制御方法または請求項23に係る記憶媒体によれば、撮像画像を撮像モードのまま任意に表示して十分に確認することができる。

【0106】

本発明の請求項2に係る画像処理装置または請求項13に係る画像処理装置の制御方法によれば、撮像画像を撮像モードのまま任意に表示しつつ該撮像画像に対して所定の処理を施すことができる。

【0107】

本発明の請求項3に係る画像処理装置、請求項14に係る画像処理装置の制御方法または請求項24に係る記憶媒体によれば、撮像画像を撮像モードのまま表示しつつ該撮像画像に対して所定の処理を施すことができる。

【0108】

本発明の請求項4に係る画像処理装置または請求項15に係る画像処理装置の

制御方法によれば、撮像画像を撮像モードのまま任意に表示しつつ該撮像画像に
対して所定の処理を施すことができる。

【0109】

本発明の請求項5に係る画像処理装置または請求項16に係る画像処理装置の
制御方法によれば、施した処理が反映された画像を随時確認することができる。

【0110】

本発明の請求項6に係る画像処理装置または請求項17に係る画像処理装置の
制御方法によれば、施した処理を反映した画像を再生モード時に再生可能にする
ことができる。

【0111】

本発明の請求項7に係る画像処理装置または請求項18に係る画像処理装置の
制御方法によれば、画像の拡大／縮小表示、回転表示、撮像条件表示を行うこと
ができる。

【0112】

本発明の請求項8に係る画像処理装置または請求項19に係る画像処理装置の
制御方法によれば、プリントアウトに関する指定を撮像画像の記憶時に設定、記
憶することができ、プリントアウト時の処理を円滑にすることができる。

【0113】

本発明の請求項9に係る画像処理装置または請求項20に係る画像処理装置の
制御方法によれば、不要な撮像画像の消去を表示により確認しつつ行う能够で
きる。

【0114】

本発明の請求項10に係る画像処理装置または請求項21に係る画像処理装置
の制御方法によれば、撮像画像の誤消去を防止することができる。

【0115】

本発明の請求項11に係る画像処理装置または請求項22に係る画像処理装置
の制御方法によれば、誤操作等による不要な処理を防止して使い勝手を向上する
ことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態に係る画像処理装置の構成を示すブロック図である。

【図2】

同形態に係る画像処理装置における確認表示処理のフローチャートを示す図である。

【図3】

他の実施の形態における撮影時のメニュー設定画面表示の一例を示す図である

【符号の説明】

- 1 0 撮影レンズ
- 1 2 シャッター
- 1 4 撮像素子（C C D）（撮像手段）
- 2 0 画像処理回路
- 2 2 メモリ制御回路
- 2 4 画像表示メモリ
- 2 8 画像表示部（継続表示手段、再生手段）
- 3 0 メモリ（記憶手段）
- 5 0 システム制御回路（継続表示手段、処理手段、再生手段）
- 5 2 メモリ
- 5 4 表示部
- 6 0 モードダイアルスイッチ
- 6 2 シャッタースイッチ（S W 1）（終了指示入力手段）
- 6 4 シャッタースイッチ（S W 2）（開始指示入力手段）
- 7 0 操作部（処理許可手段）
- 9 8 記録媒体着脱検知手段
- 1 0 0 画像処理装置
- 1 0 4 光学ファインダー
- 1 0 6 画像表示部開閉検知手段
- 1 1 0 通信手段

200 記録媒体（記憶手段）

202 記録部

204 インターフェース

206 コネクタ

210 記録媒体（記憶手段）

212 記録部

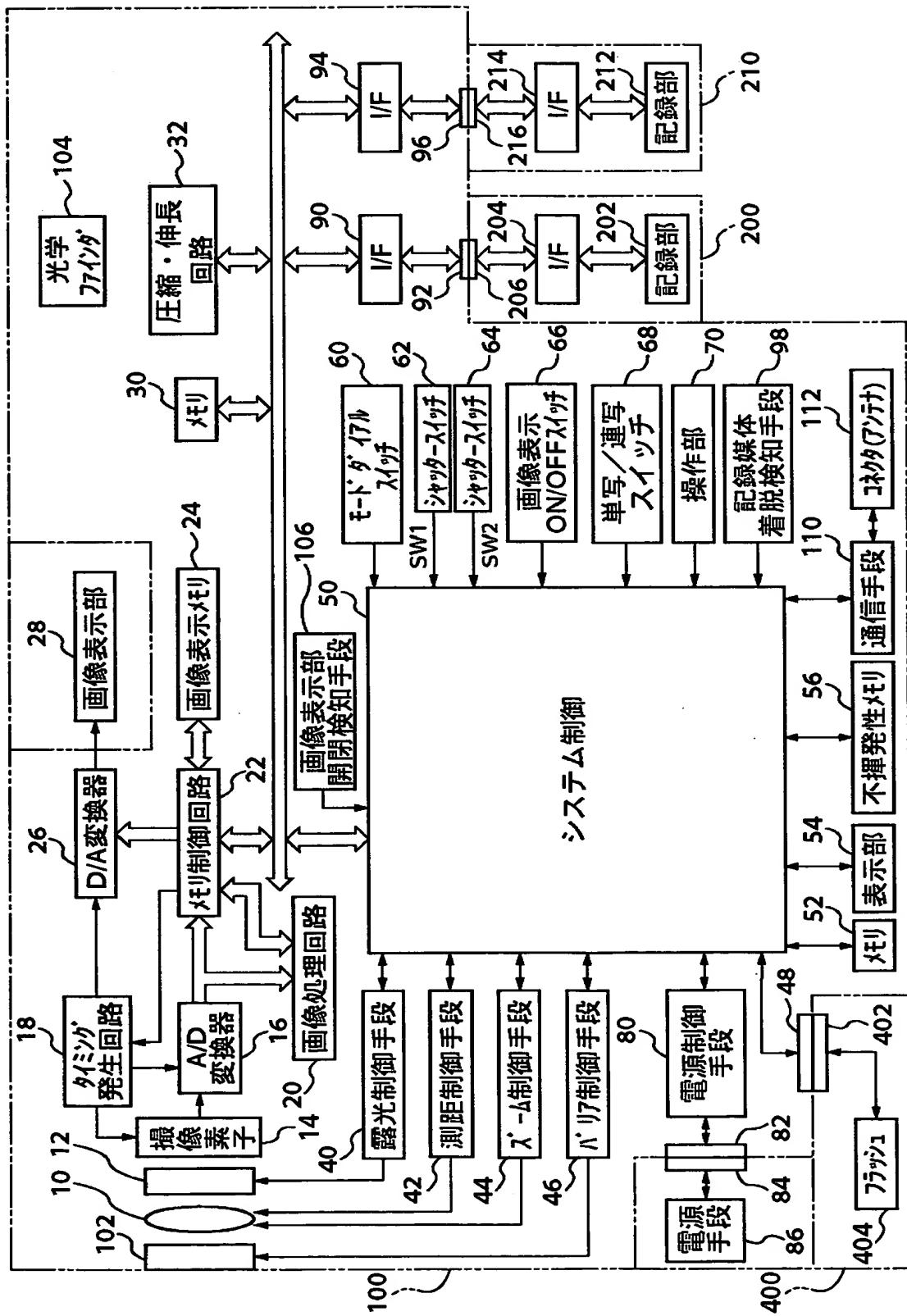
214 インターフェース

216 コネクタ

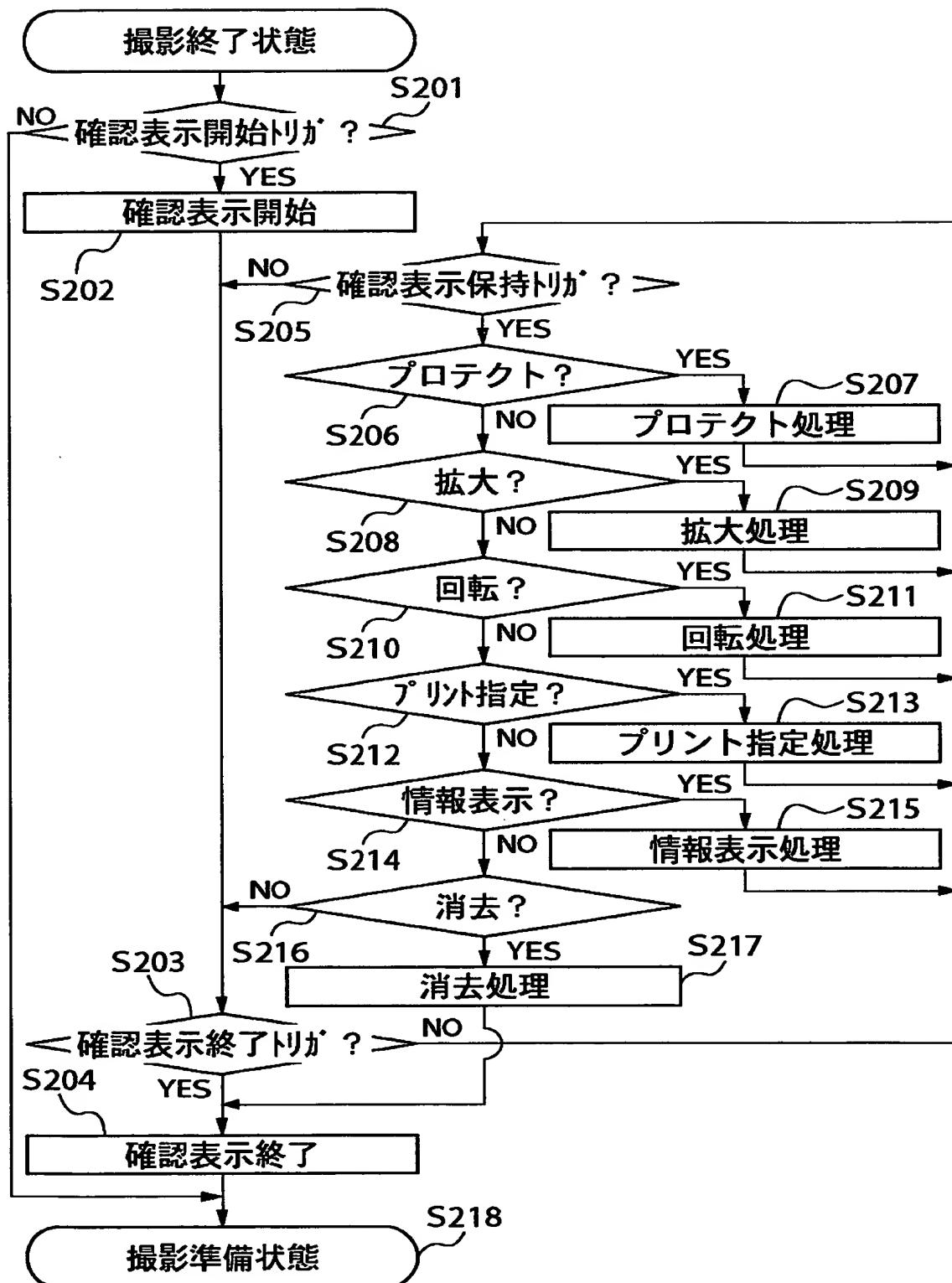
【書類名】

図面

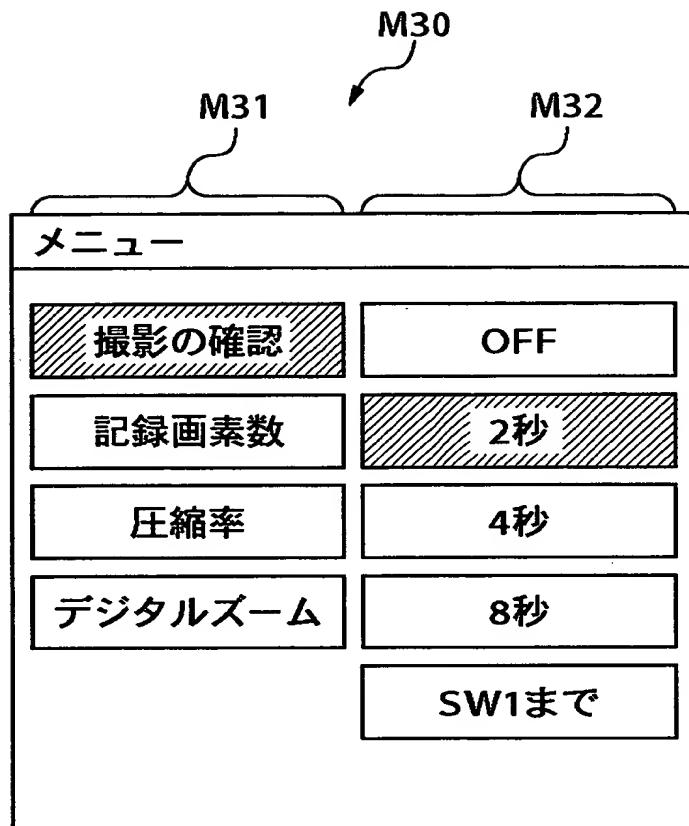
【図1】



【図2】



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 撮像画像を撮像モードのまま任意に表示して十分に確認することができ、さらには該撮像画像に対して所定の処理を施すことができる画像処理装置及びその制御方法並びに記憶媒体を提供する。

【解決手段】 撮影終了状態において確認表示開始トリガが発生している場合は、メモリ30に格納された撮像画像を表示する（ステップS202）（確認表示開始処理）。確認表示保持トリガが発生していない場合は確認表示終了トリガが発生するまで確認表示を継続する一方、確認表示保持トリガが発生している場合は、確認表示を継続しつつ撮像画像に関する処理（プロテクト処理等）のためのトリガに応じた処理を実行する（ステップS206～S217）。確認表示継続中に確認表示終了トリガが発生している場合は、画像表示部28への映像出力を停止し、撮影準備状態へと復帰する（ステップS204、S218）（確認表示終了処理）。

【選択図】 図2

出願人履歴情報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

氏 名 キヤノン株式会社